



# Leading Edge



## Greeting

東京も朝晩は涼しくなり、秋らしさが感じられるようになってきました。Japan Airboat Association 季節報の第3弾です！

今シーズンは、エアボートを体感していただくためのイベントを猪苗代湖と浜名湖で開催しました。また、エアボートによる救助デモンストレーションの様子がテレビで放映されるなど、日本国内におけるエアボートの認知度を広げるべく活動の幅を少しずつ広げています。エアボートつながりの仲間も徐々に増えてきており、今後もさらに輪を広げるべく活動していきます。

## Contents

1. 会長挨拶
2. 協会の目的
3. 活動報告
4. JAA Meeting - Summer 2014 in Inawashiro
5. JAA Meeting - Summer 2014 in Hamanako
6. Airboat Tips
7. 今後の予定

### 1. 会長挨拶

秋風が心地いい季節になりました。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？今夏はエアボートを体感していただくためのイベントを開催し、参加して頂いた皆様にはエアボートの楽しさ、可能性を大いに感じて頂けたと思います。これからの季節、日本では例年台風をはじめとした災害に悩まされる季節でもあります。本協会も具体性を持った対策を考案できるよう邁進していく所存です。

## 2. 協会の目的

Japan Airboat Association は「日本国内におけるエアボートの普及や安全管理」を目的として活動を行っています。また、この目的を達成するために以下の 5 項目を柱に活動していきます。

**Popularization:** 各種イベントの実施

**Safety:** 航行マナー講習、整備講習の実施

**Leisure:** レジャー用エアボートの提案

**Rescue:** 救助用エアボートの提案

**Volunteer:** エアボートによる地域貢献、災害時の救助活動の実施

## 3. 活動報告

今シーズンはエアボートを体感して頂くことを目的として、初めてエアボートの試乗イベントを開催しました。開催地は福島県の猪苗代湖と静岡県浜名湖、どちらも東京からやや遠い場所でしたが、多くの方々にご参加いただきました。浜名湖のイベントは救助艇や災害対策シェルターを販売している企業により発足された「水陸両用救助艇協会」のイベントと合同で行い、メディアにも取り上げていただきました。少しずつですが、活動の幅の広がりを実感しています。

## 4. JAA Meeting - Summer 2014 in Inawashiro

開催日: 2014年8月9日, 10日

猪苗代イベントでは、開催当日の天候が危ぶまれたにも関わらず、20名の方々にご参加いただきました。当日はすっきりと晴れることはありませんでしたが、試乗して頂いた最中は雨がやみ、短い時間ではありましたがエアボートの迫力を体感いただけたと思います。

試乗会では、フレッシュエア一製の救助専用エアボート「FAR-1」にお乗りいただきました。参加者のみなさんは全員初めての体験でしたが、その迫力を楽しんでいました。また、夜は参加者のみなさんと BBQ を行い、自然の中でおいしいごはんを食べながらエアボートを中心とした話題で交流を深めることができました。

天候の心配やトラブルもありましたが、参加者のみなさんにご協力いただきながら無事にイベントを終えることができ、感謝するとともに今後活かすべき点を多く発見することができた有意義な機会となりました。

参加者のみなさま、ありがとうございます！

またのご参加をお待ちしています！



試乗会の様子



集合写真

## 5. JAA Meeting - Summer 2014 in Hamanako

開催日: 2014年9月13日

浜名湖イベントは「水陸両用救助艇協会」の発足イベントと合同で開催しました。水陸両用救助艇協会はエアボート「FA-2」を製造販売している株式会社フレッシュエアー、水陸両用艇「シーレッグス」を輸入販売しているボートクラブカナル、救助シェルター「SAFE+(セーフプラス)」を製造販売している株式会社タジマモーターコーポレーションの3社が現状の日本の救助システムに新たなオプションを提案し、世界水準の質の高い救助を実現することを目的とした協会です。

このイベントでは、特にエアボートの救助艇としての魅力をお伝えすることができました。デモンストレーションでお見せした、陸上から自走して水路に入る様子や浅瀬を物ともせずに進む様子は、参加者の皆さんの目を釘付けにしていました。また、エアボートと同様、陸上も走ることができる水陸両用艇「SEALEGS (シーレッグス)」と共演し、現状の救助体制ではカバーすることが難しい水際の救助に対する新たなオプションを提案することができました。

当イベントはマスコミから取材を受け、テレビ静岡とSBS静岡放送の夕方のニュース番組でイベントの様子を放映していただきました。災害対策の意識が高まっているこの時期に注目度の高いイベントを開催できたことは非常に有意義であり、今後も水陸両用救助艇協会と協力し合い「一人でも多くの命を救うことのできる体制」作りに尽力していきます。



エアボート「FA-2」



水陸両用艇「シーレッグス」



救助シェルター「SAFE+(セーフプラス)」



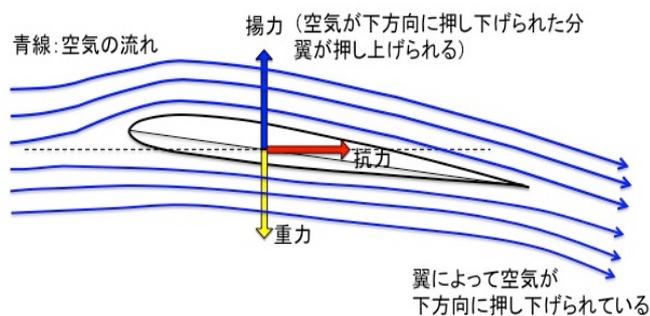
集合写真

## 6. Airboat Tips

皆さん、こんにちは。前回からプロペラについてお話しています。今回はもう一つの基礎知識としてニュートンの第3法則と揚力について書かせて頂きます。

さて、皆さんの身の回りにある物を何でも良いので押してみてください。たとえば、壁を押したとすると、壁があなたを押しかえすと思います。皆さんが壁を押した分だけ、壁もそれに応えて同じ力であなたを押し返してくれます。物を手の平で持った時も手の平に力を感じますよね。そうです、これがニュートンの第3法則を表している現象です。ニュートンの第3法則とは、『二つの物体が作用し合うとき、それぞれは互いに大きさが等しく、方向が逆である力を及ぼしあう』というものなのです。

実はこの法則を用いて揚力を説明することが出来ます。下図は翼の周りの空気の流れを表した図です。



翼周辺の空気の流れと力

少し想像力を働かせて、自分が空気になった気持ちになってみてください。最初はじっとしていたのに、急に飛んできた飛行機の翼に衝突し、下方向に押し下げられてしまいました。さてここで第3法則を思い出して下さい。

あなた(空気)が飛行機に押されたということは、あなた(空気)も翼を押し上げたはずですよ。あなたが翼に押し下げられた分、翼はあなたに押し上げられます。このあなた(空気)が翼を押し上げた力が揚力になるのです。エアボートの後ろですごい風が吹くのもこの理由からです。

前回お話ししたベルヌーイの定理を使った揚力とどっちが正しいの？と思われた方はとても鋭い方です。どちらが最も適したものなのかは、実は決着がついていないようです。これについての説明は私の知識量では不十分な為、申し訳有りませんが別にお譲りしたいと思います。

## 7. 今後の予定

今秋は都内でエアボートに興味のある方々の交流を深める場を設けたいと思っています。今夏のイベントは東京から離れた場所で行ったため、ご参加頂けなかった方々もいると思います。そのため、エアボートの映像などを見ながら語らえるような場にできたらと考えています。エアボートに興味がある方は、ぜひこの機会にご参加ください！

また、この12月で本協会の設立から1年が経ちます。この機会に、協会の設立目的を再認識し、1年の活動内容を振り返るとともに、さらなる発展を目指して2年目を迎えたいと思います。

10月

イベント準備 (都内)

11月

イベント開催 (都内)

12月

JAA 年次総会